



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和5年8月30日発行

落ち着いた気持ちで学期はじめを

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。笑顔で登校する子どもたちの姿から、またひと回り成長した様子がうかがわれます。

さて、今年の2学期は、過去3年間とは違います。制限の少ない中で、存分に力を発揮する学期にしてほしいと願っています。しかしながら、例年にない暑い夏を過ごしてきた子どもたちの心と体には配慮が必要と考えています。そこで、学期のはじめは1つ1つを確かめながら落ち着いた気持ちで過ごし、その後徐々に調子上げるように働きかけていこうと考えています。そして、12月には子どもたち一人一人が「有意義だった」と振り返ることができる学期を目指します。保護者の皆様には、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

みんなで力を合わせること



上は、1学期に行われた「バスケットボール大会壮行会」の様子です。5年生の代表児童を中心にすばらしく熱心な、心のこもった応援が行われました。いつもお世話になっている6年生が練習を重ねて臨む大会ということで、体育館の全校児童の気持ちが1つになったようでした。

その気持ちを胸に試合に臨んだ6年生の両学級。会場は離れていても、目指すものは同じです。練習の成果を生かし、下級生の思いを力にして、輝くようなプレーと抜群のチームワークが見られました。

2学期は、運動会を皮切りに行事が目白押しです。結果もさることながら、そこに至る過程こそが重要と考えています。各行事を通して子どもたちには、他者と心を合わせ取り組み成し遂げることのよさや大切さを感じ取ってほしいと願っています。



ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす